

---

# お兄ちゃんと咲季

MEBIUS

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ  
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。  
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または  
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ  
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範  
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し  
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

お兄ちゃんと咲季

### 【著者名】

MEBHUUS

### 【あらすじ】

希望に満ち溢れた将来を夢見る少女・咲季（九歳）と、彼女の  
兄貴分の青年（名前・年齢不詳）の、理想を打ち壊す最低な会話集。

## フルーツショップ

「ねえ、お兄ちゃん」

「何だい、咲季ちゃん?」

「お兄ちゃんは今果物屋さんで働いてるんだよね?」

「ああ、やうだよ。いきなりびつしたんだい?」

「今日学校でね、将来の夢について話してて、私果物屋さんになりたいって言ったの」

「へえ、やうなのが。でも、どうして?」

「私、果物大好きだから!...」

「そうだね、咲季ちゃんは果物大好きだよね。僕が持つてくると直ぐに全部食べてしまうし」

「でもね、私果物屋さんがどんな事するか知らないの」

「だから、今丁度働いている僕に聞いてみたと」

「うそー。」

「さうだなあ……先ず咲季ちゃんは果物屋さんにどんなイメージを

持つてる?」

「えーとね……いい匂い!! 林檎とか、蜜柑とか、苺とか、メロンとか、甘くていい匂いが一杯!!」

「そうだね、果物の匂いはいい香りだよね。……少し嗅ぐくらいなら

「え?」

「果物は段ボール箱に入つて送られてくるんだけど、開けた時たまにね、凄くキツイ匂いがする時があるんだ。そんな時は大抵……中身がグチャリと潰れてるんだよ」

「えー、勿体ない!!」

「ただ潰れてるだけならね。もつとヒドイのは、そこから黴が生えて丸々覆い尽くされてる奴さ。そうなつてしまえば、ただキツイ香りのするドロドロの塊、丸で汚泥だよ。ヒドイ時は箱や周りの果物にへばり着いてたりするんだ。それを手で引っ掴んでゴミ箱に捨てなきゃいけないんだけど、持つてる最中にドロリと液状化した果肉が腕を伝つてきたり……って、咲季ちゃん、どうかした?」

「な、なんか……気持ち悪くなつてきた……」

「そう? それでね、毎回そんな物があるものだから、『』/箱の中には腐つて崩れた奴とかが溢れたりするんだ。夏場は蠅が集りだし、齶陶しつたらありやしない。後、お店に並べてる内に痛みだした物とかは、値段を安くして出す為に一日片付けるんだけど、中々他の仕事が忙しくてね。気付くと冷蔵庫にそれが一杯溜まつ

てて……そして腐ってるんだ。冷蔵庫の中は暗くて湿っぽいから絶好の場所なんだろうね、ヒドイ時なんて下げた物全部に黴が生えた上に腐り落ちてたよ。ネチャネチャな粘液になつた果汁の中に手を突っ込んで……

「お兄ちゃん……」

「ん、何だい?」

「私、果物屋さん指すのやめる。なんか私に出来る気がしないや……」

「え、そうかな? それは残念だな。……あ、所で今日も果物食べるかと思って林檎やら蜜柑やら色々持つてきたんだけど」

「いや、何か見たくない!! 暫く食べたくないよ……」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1925u/>

---

お兄ちゃんと咲季

2011年10月6日19時51分発行